

氏名	大坂 祐二 (オオサカ ユウジ)
所属	名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科
職名	准教授
研究室連絡先	電話 01654-2-4199 (1306) FAX 01654-3-3354 E-mail osakaug@nayoro.ac.jp
ホームページ URL	<a href="http://homepage2.nifty.com/y_osaka/">http://homepage2.nifty.com/y_osaka/</a>

学歴	北海道大学教育学部卒業 北海道大学大学院教育学研究科博士課程 教育制度専攻 単位取得退学
職歴	1996年4月～2001年3月 市立名寄短期大学 生活科学科 講師 2001年4月～2007年3月 同上 助教授 2006年4月～2007年3月 名寄市立大学保健福祉学部 社会福祉学科 助教授 2007年4月～現在 名寄市立大学保健福祉学部 社会福祉学科 准教授
学位	修士(教育学)(北海道大学大学院)
免許・資格	
研究分野	社会教育、福祉教育
現在の研究課題	若者の社会的自立を促す生活・文化の構造と地域青年活動に関する研究
主な担当科目	生涯学習論、社会福祉教育論、福祉科教育法Ⅰ・Ⅱ

研究・教育業績	<p>(1)地域づくりと地域生涯学習の計画化に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山田定市編著『地域づくりと生涯学習の計画化』北海道大学図書刊行会、1997年(第Ⅱ編 第4章 第4節「青年活動を通じたネットワーク形成」および第Ⅲ編 第3章 第3節「公民館実践」の執筆を担当)</li> </ul> <p>(2)地域青年活動と青年の自己形成に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「青年団における地域活動の展開過程」『北海道大学教育学部紀要』62号、1994年</li> <li>「青年活動と青年の自立過程」大前哲彦・千葉悦子・鈴木敏正編著『講座主体形成の社会教育学3 地域住民とともに—社会教育実践論』北樹出版、1998年</li> </ul> <p>(3)北海道における「地方の若者」の生活・文化に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「現代若者論ノート(1)」『市立名寄短期大学紀要』第31巻、1999年</li> <li>「現代若者論ノート(2) —パラサイト・シングルと地方の若者—」『市立名寄短期大学紀要』第33巻、2001年</li> <li>「地方文化としての冬季スポーツ—オリンピック選手を輩出した地域の事例—」(共著)日本社会教育学会第49回研究大会発表要旨集録、2002年</li> <li>『よさこい/YOSAKOI 学リーディングス』(共著)開成出版、2003年</li> <li>『「地方」から見た YOSAKOI ソーランと地域社会(その1)』『地域と住民』25号、名寄市立大学・市立名寄短期大学道北地域研究所、2007年3月</li> </ul> <p>(4)北海道における若者の地域意識・地元意識と学校教育・社会教育に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「市町村合併下の地域青年活動—北海道の事例から—」日本社会教育学会第56回研究大会発表要旨集録、2009年</li> <li>「覚え書・礼文町船泊中学校『船中よさこい』の14年」『地域と住民』28号、名寄市立大学道北地域研究所、2010年3月</li> </ul> <p>(5)住民参加型の福祉活動・共助活動に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「エコマネーの教育的契機とコミュニティ形成への課題—北海道栗山町『クリン』の事例—」『地域と住民』22号、市立名寄短期大学道北地域研究所、2004年</li> <li>「福祉コミュニティ形成に向けた地域通貨の可能性と課題—名寄市における地域通貨『ひまわり』試験運用の結果から—」『地域と住民』23号、市立名寄短期大学道北地域研究所、2005年</li> </ul>
---------	---

	<p>(6)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大学の地域づくりと地域の大学づくり」『大学と教育』No.31、東海高等教育研究所、2002年</li> <li>・平成20年度ジョブコーチ養成研修（基礎編）修了（なよろ地方職親会主催）</li> <li>・「抄録・知的障害者職業自立支援会議」（採録と解説）『地域と住民』27号、名寄市立大学道北地域研究所、2009年3月</li> </ul> <p>(7)学生の自主活動への指導・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北鼓童サークル（名寄市内・近隣の子どもなどを対象にした YOSAKOI ソーラン踊りのイベント「北鼓童 Lovers」の開催など）（1998年～現在）</li> <li>・バリアをなくそう会（聴覚障害のある学生に対する情報保障）（2006年、2007年度以降は「バリアフリーサークル」）</li> </ul>
--	--

学会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本社会教育学会（1988年～現在）</li> <li>・日本社会福祉学会（2004年～現在）</li> <li>・日本地域福祉学会（2004年～現在）</li> <li>・日本福祉教育・ボランティア学習学会（2005年～現在）</li> </ul>
------	---

社会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育推進全国協議会会員、全国集会青年分科会世話人（1990年～現在）</li> <li>・全国青年問題研究集会（日本青年団協議会主催）助言者（2007年度・2008年度）</li> <li>・八雲町青年問題研究集会（八雲町教育委員会主催）助言者（2001年度～現在）</li> <li>・札幌市青年施設の在り方検討懇談会委員（2002年6月～2003年3月）</li> <li>・名寄市社会教育委員（1998年4月～、2002～2007年度 副委員長、2008年度～現在 委員長）</li> <li>・第7次名寄市社会教育5カ年計画策定委員（2002年10月～2003年3月、副委員長）</li> <li>・名寄市総合計画策定審議会特別委員（2006年9月～同年12月）</li> <li>・名寄市男女共同参画推進計画策定委員（2007年度、副委員長）</li> <li>・名寄市男女共同参画推進委員会委員（2008年度～現在、委員長）</li> <li>・名寄市社会福祉協議会 評議員（1998年2月～2006年3月）</li> <li>・名寄手をつなぐ育成会 地域共同作業所「陽だまり」運営委員（1998年11月～現在）</li> <li>・特定非営利法人 名寄心と手をつなぐ育成会 理事（2007年3月～現在）</li> <li>・(社)名寄青年会議所 会員（2003年9月～2004年12月）</li> <li>・名寄市民劇場 2001年、2004年、2005年公演にキャストで参加</li> <li>・北鼓童なよろ振興会 会員（1999年～現在、2005～07年度副代表、08年度～代表）</li> </ul>
------	--

受賞	
----	--

コメント	<p>学生時代、調査実習や演劇活動を通して「地域はいろいろな人がいて成り立っているんだなあ」と感じたことが、現在の教育・研究のひとつの原点になっています。いろいろな人とのつながりを豊かに作りだし、そのなかで自分を成長させてゆこうとするのが、地域活動であり、ボランティア活動なのです。YOSAKOIや市民劇に携わっているのも、そうした視点にたって自分自身を鍛えるための実践でありフィールドワークであると言えるかもしれません。最近は特に、子ども・若者が地域の一員としての自覚を高めうる教育活動・地域活動についての研究を行っています。また、障がいのある人たちの文化・芸術活動や、障がいのある人たちの就労支援についても関心を持っています。</p>
------	---